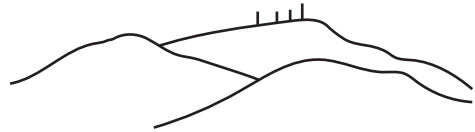


Youth Manna

2018/10/15-10/21



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2018/10/15(月)

箴言 10:17-32

今日の箇所では、正しい人と愚か者というように二つのものが対比されて書かれています。

では正しい人とはどんな人のことを言うのでしょうか？正しい人とは、失敗しない人、罪を犯さない人、という意味ではありません。正しい人とはいつも神様を恐れる人であり、たとえ罪を犯したとしても、その度に正直に神様の前に罪を告白して悔い改める人です。

人は相手の言葉や行動を見て、その人がどんな人かを判断しますが、神様は人の心を見るお方です。あなたの心は神様の愛や喜びで満ちているのでしょうか？それとも他のもので満ちているのでしょうか？自分の心がどんな状態か今一度思い巡らして祈って見よう！

2018/10/16(火)

箴言 11 章

今日の箇所から、あなたはどの言葉が目にとまりましたか？

私たちがどのように歩むかによって、周りの人にどんな影響が流れるかが変わり、自分の人生にどんな実を結ぶかが変わっていきます。

自分自身を小さく見ないようにしましょう！神様はあなたを通して、周りの人々を祝福しようとしています！イエス様は私たちが地の塩、世の光と呼びました。でも私たちが神様から離れて生きるのなら、良い影響力を発揮できなくなるでしょう。自分からどんなものが周りの人に流れていっているかを気をつけて生活しよう。

そして自分にとって損か得かという考えではなく、神様が喜ばれることを大事にしていこう！

2018/10/17(水)

箴言 12 章

今日の箇所では、「教えるということ、教えられるということ」「忠告し、訓戒するということ、忠告され訓戒されるということ」の大切さが教えられている。両親や親しい友だちから教えられること、注意されることを素直に聞き入れることができているかな？逆に、自分が人に語る時に、癒すことを考え親切な言葉遣いで、平和を図っているだろうか。

実際に見たり聞いたりすることのできる人達からの教えや注意を聞くことのできない人は、見ることのできない神様の教えや注意を聞くことが難しくなるね。

人から注意されるとき、叱られるとき、謙遜な態度で話を聞き、素直な柔らかな心で受け入れることができるように、周りの人たちを通して語ってくださる神様の心を聞くことができるように、お祈りしよう。

2018/10/18(木)

1 コリント 11:2-16

今日の箇所は、教会内における礼拝などでの混乱の問題をパウロは取り上げています。

礼拝で一部の女性たちが頭にかぶり物(ベール)を着けずに礼拝していました。当時の文化では女性は公の場ではかぶり物をするようになっていました。今の僕たちの時代にはないことだけど、当時の人たちは信仰によってこのことを大事にしていたんだね。

しかし、キリストによって自由とされたのだからと、他の人がどう思うかを全く考えずに自分の好きなように振る舞うことが、神様の立てられた秩序を壊しているとパウロは厳しく指摘したんだ。これは形式の問題ではなく、どのような心で神様の御前に立っているかの問題だね。あなたはどのような心で礼拝しているだろうか。みんなで集まって礼拝出来ることの恵みを考え感謝しよう！

2018/10/19(金)

1 コリント 11:17-34

今日パウロから教えられる事は、教会がどうあるべきか、つまり私達が互いにどうゆう関係を持つ必要があるかです。コリントの教会では共に食事をする交わりがあったけれども、自分を優先する人、空腹な人、酔っ払う人がいる中で聖餐式が行われていました。今私達の教会ではそんな事考えられないと思うけど、心の中ではどうだろうか？日々の生活にも置き換えられる事ですね！自分よりも必要な人がいるのに自分を優先したりしてないかな？助けを必要としている人を見て見ぬフリをしていないかな？教会での交わりも、1人も外される事なく共に神様から与えられる祝福を受け取る事が神様が望んでいる事です！自分が今関わっている人との交わりに神様がいて下さるよう祝福して祈ろう！

2018/10/20(土)

1 コリント 12:1-11

聖霊の賜物のことが今日の箇所から記されているね。

聖霊なる神様は、イエス様を信じた全ての人のうちにおられ、一方的な恵みによりそれぞれに賜物が与えられる。これは一人一人の良し悪しや、優劣ではなく、神様の働きに用いられるものとして、それぞれに一番よいものが与えられているんだ。

そして、そのどれもが、たったひとつの聖霊によるもので、全てが結び合わされている！それを語ることで、コリントのばらばらになっていた部分に一致を励ましたんだ。

私達にもそれぞれに賜物が与えられている。それは何か、そしてどのように用いていけるか考えてみよう。友だちの賜物についても思い巡らし、感謝して祝福して伝えあおう！

2018/10/21(日)

1 コリント 12:12-31

私たちの教会にいるみんなの顔を思い浮かべて見ましょう。一人一人、学校や仕事、役割は異なります。ですが全員がイエス様の体の一部です。全ての人々が体のうちに必要な器官です。役割は異なりますが、そこに優劣はありません。

もし体の一部が苦しめば、他の全ての部分が苦しみ、一つの部分が尊ばれば、他の全ての部分に喜びがあるように、教会もそのようであるべきです。泣く者と一緒に泣き、喜ぶ者と一緒に喜ぶ心を持ちましょう！

お互いをイエス様に愛される大切な存在として見て、互いに受け入れ、愛し合うことをこれからも目指していきましょう！